

2022 年度秋季大会優秀講演発表賞受賞者

2022 年度秋季大会は、2022 年 11 月 15 日(火)～17 日(木)の 3 日間、同志社大学寒梅館で開催しました。学生会員の講演発表のうち、下記の 15 名の学生会員に優秀講演発表賞を授与することが決定致しました。

青 木 勇 太 (東京大学)
「フラッシュ現象を利用した微細な Al_2O_3 -GAP 異方性共晶組織の作製と塑性変形挙動の調査」

稲 田 真 生 (同志社大学)
「低次元構造を有する(La, Ge)-Cu-O 系化合物の元素置換効果と物性評価」

岩 田 康 希 (豊橋技術科学大学)
「多孔質領域を巨視的に導入するための粉末冶金プロセス」

大 坂 天 心 (東北大学)
「ナトリウムニオブ酸塩と窒化ホウ素を用いた窒化ニオブの合成」

春日井 涼 太 (名古屋大学)
「 $\text{Zn}_{2-x}\text{Mg}_x\text{P}_2\text{O}_7$ の構造相転移と負熱膨張」

加 納 雅 人 (名古屋大学)
「 $\text{Cu}_{1.8}\text{Zn}_{0.2}\text{V}_{2-x}\text{P}_x\text{O}_7$ の負熱膨張特性」

久留宮 悠 平 (東北大学)
「コールドスプレー法を用いて作製した Fe ナノ粒子集合体の磁気特性」

小 池 真 央 (名古屋大学)
「フラッシュ焼結過程における焼結活性化エネルギーの検討」

林 秀 亮 (名古屋大学)
「積層造形への適用に向けた種々の Al 系二元共晶合金粉末を用いた Al 粉末の液相焼結挙動の調査」

桧 垣 武 史 (九州大学)
「パーシステント・ホモロジーによるチタン AM 材の気孔配置の積層構造の数値解析」

福 原 雅 博 (同志社大学)
「ミスフィット型層状コバルト酸化物 $\text{Ca}_3\text{Co}_4\text{O}_9$ の元素置換効果および物性評価」

眞 鍋 奈 央 (島根大学)
「周期的高圧力下での SPS 法による低温での高密度 Ti 焼結体の作製」

村井田 拓 希 (長岡技術科学大学)
「熱処理と焼結によるアルミドロスのリサイクル」

村 岡 丈 太 朗 (北海道大学)
「 Ti_2AlC -MAX 相セラミックスの強磁場印加による配向制御とその特性の結晶方位依存性」

横 田 遼 太 郎 (岡山大学)
「機械特性・熱特性に優れた軽量発泡体の作製」

(総評)

今秋季大会での優秀講演発表賞対象の講演は 66 件でした。2019 年度秋季大会以来の対面開催となりました。オンライン開催とは違い、聴衆を目の当たりにし、緊張の中、日頃の研究成果発表がなされたと思います。また、活発な質疑もあり、学生の皆さんも丁寧で的確な応答をされていました。来年は国際会議も開催する予定です。さらに研鑽を積み重ねられ、引き続き研究発表していただくことを期待しています。

(一社) 粉体粉末冶金協会 会長 園田 修三